

# STOP! 転倒プロジェクト

あなたの職場は大丈夫？

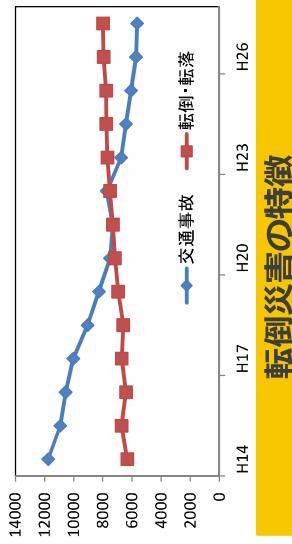
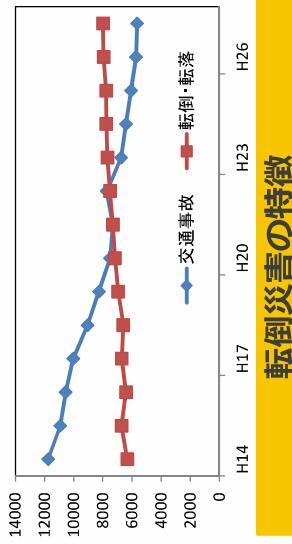
## 転倒の危険をチェックしてみましょう

チェック項目	
1 通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せずに、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3 安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4 転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5 作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいますか	<input type="checkbox"/>
6 ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか	<input type="checkbox"/>
8 ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9 ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

## 労働災害全体の2割！

岡山県内の休業災害（4日以上）のうち、約2割が転倒災害と、労働災害では最も多く発生しており、深刻な問題となっています。

また、人口動態調査によれば、転倒・転落で亡くなる方は交通事故で亡くなる方よりも多く、転倒の防止は国民的課題となっています。



## 転倒災害の特徴！

特徴1 特に高年齢者で多く発生！  
転倒災害全体のうち**62%**が**50歳以上**となっています。

特徴2 休業1か月以上が約6割！  
転倒災害の休業期間は**63%**が**1か月以上**となっています。

## 転倒災害の主な原因

▶転倒災害は、大きく3種類に分けられます。皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？

原因	主な原因	対策
つまづき	<主な原因> ・床の凹凸や段差がある。 ・床に荷物や商品などが放置されている。	<主な原因> ・大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業している。
滑り	<主な原因> ・床が滑りやすい素材である。 ・床に水や油が飛散している。 ・ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている。	<主な原因> ・足元が見えていない状態で作業しない。

## 転倒災害防止対策のポイント

▶転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになります、作業効率も上がりります。

4S（整理 整頓 清掃 清潔）	転倒しにくくする作業方法	その他の対策
・歩行場所に物を放置しない ・床面の汚れ（水、油、粉など）を取り除く ・床面の凹凸、段差などの解消	・時間に余裕を持って行動 ・滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行 ・足元が見えにくい状態で作業しない	・作業に適した靴の着用 ・職場の危険マップの作成による危険情報の共有 ・転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起

チェックの結果は、いかがでしたか？

問題があつたポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。  
どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイディアを出し合いましょう！

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！

「STOP! 転倒災害プロジェクト」

STOP! 転倒 検索



# 第三次産業における労働災害の推進について

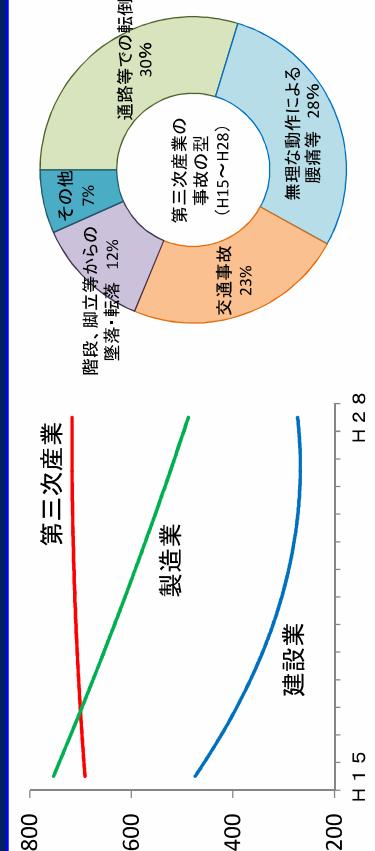
岡山県における労働災害は、製造業、建設業においては減少傾向となっていますが、第三次産業では、少しずつ増加している傾向にあります。特に、社会福祉施設では平成28年における労働災害が平成24年に比べ38.9%増と大幅な増加となっております。

右側の「チェックリスト」、「取組事項」を活用し、より安全な職場の実現をお願いします。

**小売業、社会福祉施設、飲食店など第三次産業において増加している労働災害の減少を図るため、**

を展開しています。

## 第三次産業の労働災害状況



### 小売業、社会福祉施設、飲食店で多い労働災害

原因	状況	その他の原因
転倒	急な動き・無理な動き	墜落・転落 「重いものを無理な姿勢で持ち上げたり、移動させたりするときに、介護で利用者や台車に「つまづく」「濡れた床で滑る」など

「働く人に安全な店舗・施設づくり推進運動」特設サイト

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/information/sanjisangyo.html>

### ● 岡山労働局HP「第三次産業における労働災害が増加しています！」

- 安全・衛生に関する主な制度・施策紹介
- 安全・衛生 検索
- 安全 パンフ 検索

岡山労働局・各労働基準監督署

## チェックリスト

- チェック項目
- 4 S活動（整理、整頓、清掃、清潔）の徹底による床面の水濡れ、油汚れ等の小路の確保等による転倒・腰痛災害の防止を実施していますか。
  - 作業マニュアルを店舗・施設の従業員に周知、教育していますか。
  - KY（危険予知）活動による危険予知能力、注意力の向上に取り組んでいますか。
  - ヒヤリハット活動による危険箇所の共有、除去を実施していますか。
  - 危険箇所の表示による危険の「見える化」を実施していますか。
  - 店長・施設長、安全担当者による定期的な職場点検を実施していますか。
  - 朝礼時等での安全意識の啓発を実施していますか。
  - 転倒防止に有効な靴、切創防止手袋等の着用の推進、介護機器・用具等の導入、使用の推進、熱中症予防のための透湿性・通気性の良い服装の活用などを実行していますか。
  - 腰痛予防対策指針に基づく健康診断を実施していますか。
  - 腰痛・転倒予防体操を励行していますか。
  - 熱中症予防のための休憩場所・時間の確保を実施していますか。

## 主な取組事項の概要

- ① 4S活動による転倒災害の防止
- ◆ 「4S」とは「整理」、「整頓」、「清掃」、「清潔」のことで、これらを日常的な活動として行うのが「4S活動」です。
  - ◆ 4S活動は、労働災害の防止だけでなく、作業のやすしさ、作業の効率化も期待できます。
- ② KY活動=潜んでいる危険を見つける
- ◆ KYとは「危険(K)・予知(Y)」のことです。KY活動では、業務を開始する前に職場で「その作業では、どんな危険が潜んでいるか」を話し合って「これは危ない」というポイントに対する対策を決め、作業のときは、一人ひとりが「指差し呼称」をして行動を確認します。
  - ◆ 「うつかり」、「勘違い」、「思い込み」などは安全ではない行動を招き、災害の原因となります。

## ③ 危険の「見える化」=危険を周知する

- ◆ 危険の「見える化」とは、職場の危険を可視化（=見える化）し、従業員全員で共有することをいいます。KY活動で見つけた危険のポイントに、右のようなステッカーなどを貼りつけることで、注意を喚起します。
- ◆ 墜落や衝突などのある箇所が事前に分かつていれば、そこでは特に慎重に行動することができます。

